

平成30年春の火災予防運動



平成30年度塩釜地区統一防火標語

怠るな 命のために 日々(火々)確認

加藤 佑地さん (塩竈市内勤務)

春の火災予防運動の一環として募集いたしました防火標語は、計1,941点の作品が寄せられました。



火災予防運動の目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

実施期間

平成30年3月1日(木) から3月7日(水)

平成29年の火災状況

平成29年の火災件数は**37件**でした。火災種別では、建物火災20件、その他の火災12件、林野火災3件、車両火災が2件となっています。

◆ 火災による死傷者

火災による**死者が2名**発生しています。火災により亡くなられた方は**65歳以上の高齢者**となっています。

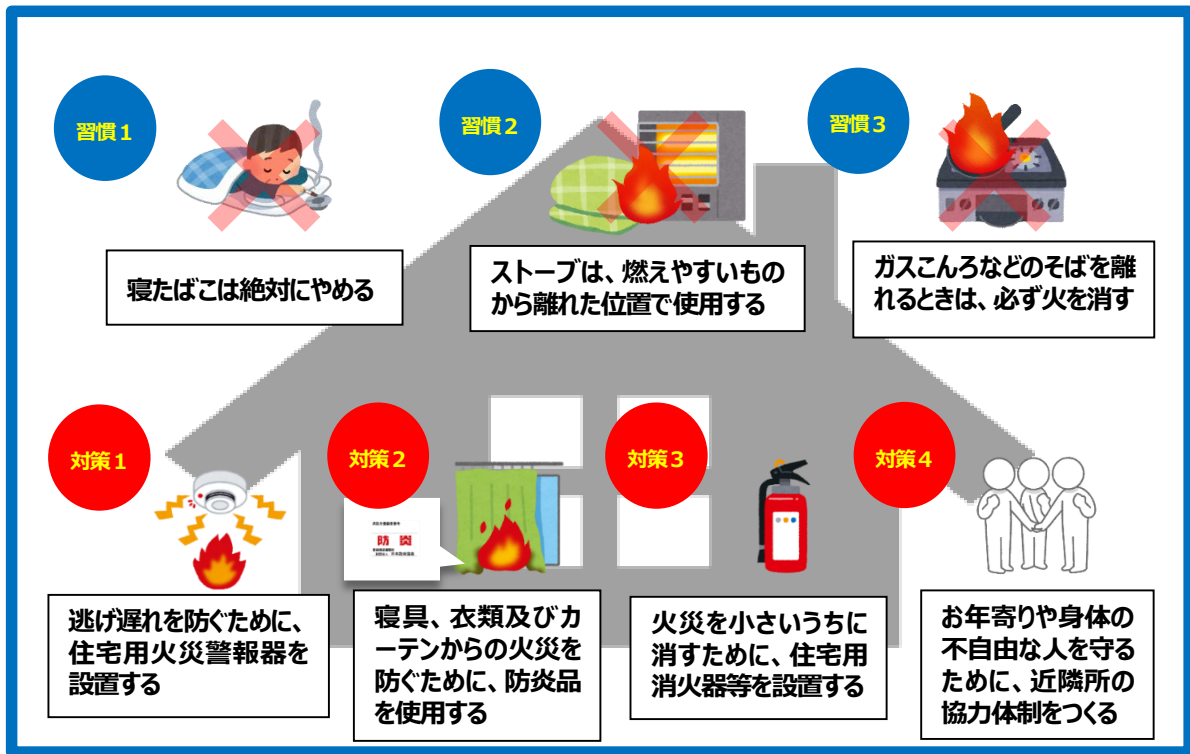
また、**火災による負傷者は4名**となっています。

◆ 主な出火原因

出火原因の上位をみると、第1位は「たばこ」で6件、第2位は「放火・放火の疑い」・「こんろ」・「電気関係」が3件となっています。

※ 今年に入り火災が相次いで発生しています。また、火災による死傷者も発生していることから、住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、命を守るために日頃から取り組むべき「ポイント」をご紹介します。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント



平成 29 年中の主な出火原因に対するポイント

たばこ火災	こんろ火災	放火火災
<p>ポイント</p>  <ol style="list-style-type: none"> ① 寝たばこは絶対にしない ② 吸殻を灰皿にためない ③ 吸殻は水で完全に消してから捨てる ④ 飲食→喫煙→うたた寝に注意 	<p>ポイント</p>  <ol style="list-style-type: none"> ① 調理中は離れない ② 周囲に燃えやすいものを置かない ③ 防災製品のエプロン等を使用する ④ 火は鍋底からはみ出さないように調整する 	<p>ポイント</p>  <ol style="list-style-type: none"> ① ごみは収集日の朝、決められた場所に出す ② 家の周りに燃えやすいものを置かない ③ 物置や車庫は施錠をする ④ 郵便受けに新聞などをためないようにする

火災のない街づくりには、みなさんの常日頃の防火に対する心がけと実践が重要です

住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は火災を早期に発見しあなたと家族の大切な命、財産を守るものです。

- 設置場所は**全ての寝室（子供部屋含む）・台所・階段**です。
- 性能維持のため、ほこりなどを**掃除**しましょう。
- ボタンを押すか、ひもをひいて**定期的な点検**をしましょう。
- 取扱説明書等により**本体の交換時期**を確認しましょう。

住宅用火災警報器の寿命はおおむね 10 年です。

➤ 住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。



お問い合わせ先

消防本部予防課指導係

電話 022-361-1617

火災・救急は **119** 番に通報 ~あわてずに落ち着いて~

悪質販売に注意しましょう



塩防くん

消防職員が住宅用火災警報器をはじめとする防災機器等を直接販売したり、特定の業者に販売を依頼することはありません。